

協力企業との意見交換会、開催



長岡サポステでは、数十社にも及ぶ事業所のご協力をいただきながら、若者の職場体験実習やジョブトレーニングを実施しています。実際の業務に触れることにより、仕事の内容を理解し、就労意欲を高めてもらうことで、就職活動への意欲、一歩踏み出す勇気が湧いてきます。また、実習終了後に受入先の事業所での就職が決まった若者も数多くいます。職場体験実習を通じて就職した若者からのメッセージを4ページに掲載しています。

去る3月7日(水)、日頃からジョブトレーニングや職場実習体験でご協力をいただいている事業所の方々との意見交換会を開催しました。当会議では、「職場実習後に採用に至った若者の成長について」をテーマに、3名の企業の方々から講演を賜り、採用された若者のその後の活躍や成長ぶりについてお話いただきました。この講演はサポステ利用者も聴講しており、就職への一歩を踏み出せないでいる若者への温かいメッセージとなりました。

小さなミスにこだわらず、長い目で見て育てることが大切だと感じています。若者なのだから経験や場数が少ないのは当たり前。現状から脱却したい、就職したいという意思、チャレンジする意欲を見せてほしいですね。入口で踏み留まっている若者の背中を押してあげたい。お待ちしております。

(株)アークベル長岡支社 井上統括マネージャー

最初はサポステのことも知らず、どんな若者がやって来るのか半信半疑でした。学卒に比べると少しアピールが弱いかなとも感じましたが、他の若者たちとなんら変わらないと認識しました。その彼は今でも立派に頑張っています。サポステに登録したこと自体が一步前進!自分に合う職場は必ずあるので、ぜひチャレンジしてください。

(株)長岡製作所 遠藤総務部長

成長無限!! (成長すること限り無し)

6年前からスマイルセンターという支援組織で障がい者の職業訓練事業を展開しています。社内に掲出し、そこに通ってきている方に常に言い続けています。サポステを利用されている方も同じと思います。職場実習でも何でもチャレンジして行って下さい、踏み出して行ってください。皆様の実習への参加を待っています!

三喜商事(株) 稲垣代表取締役社長

(発言順)

●ご出席いただいた事業所一覧

(株)アークベル長岡支社 (株)サークサイバネーション
三喜商事(株) (社福)信濃川令終会 (株)長岡製作所
三穂エンジニアリング(株) (50音順 敬称略)



コミュニケーショントレーニング

聞いて、話して、少しずつコミュニケーション能力を高めていきます



会話のトレーニング 話し手は自分を表現する言葉を考え、相手に伝えます。聞き手は、あいづちや頷きを交えながら話を聴きます。スムーズに会話ができるように練習します。



1Way コミュニケーションと2Way コミュニケーション 相手に同じ図形を描いてもらう一種の伝言ゲームです。説明者が一方的に相手に説明するのと、相手の質問を受けながら説明するのでは、明らかな違いが…。



ゲームで心のストレッチ 参加者ひとりひとりが進んで声がけし、じゃんけん相手を探します。声を出しながらじゃんけんすることで、相手との距離感も一気に縮まります。



長岡民話の会のみなさんによる昔語り 参加者みんなで感想を話し合いました。自然に話す…というわけにはいかず、話し終わると次の人を指名することにしました。このあたり参加者の苦手意識があるようです。



味方になりきるコミュニケーション講座を開催しました

コミュニケーショントレーニング番外編として、日本ゲートキーパー協会だいこほらの大小原利信理事長をお招きし、2回にわたり学習会を開催しました。困っている身近な人のSOSを受け止め、「話してくれてありがとう」「つらかったよね」「一緒に考えようね」のように相手への共感が伝わる言葉を発し、その人の味方になりきることで信頼関係を築けること、どのような態度や仕草で傾聴すれば相手に温かい思いが伝わるのかを考えながら、コミュニケーションの大切さについて学んだ貴重な機会となりました。そして、誰もがゲートキーパーとなり、身近な人の味方になれるんだというメッセージをいただきました。



相手を否定せずに「そだねー」と良いところを探し、お互いを思いやれる社会が、誰にとっても生きやすい社会だよ。

【ゲートキーパー】 自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる人のことで、「命の門番」とも位置付けられる人のこと(厚生労働省ウェブサイトより)

(参加者の感想)

世の中には落ち込んだり傷ついたりしている人がいるという事を再確認しました。身近に弱っている人がいたら、声がけをしていきたいです。アサーティブな態度についても考えを深め、身につけていきたいです。(30代 女性)

相手に気持ちを伝えるのは難しいけど、大切に必要なことだと思いました。ドラえもんしずかの静香ちゃんみたいに相手を受け止めながら、自分の主張ができるようになりたいです。(10代女性)

何げない言葉を相手に言っても、その言葉で傷ついて立ち直れなくなることがあると改めて思いました。求職活動で会社の人と会った時に今回のことを活かせば印象もよくなると思いました。

(20代男性)

悩んでる人がいたら、「どうしたの?」っていきなり質問するんじゃなく、最初に相手の気持ちを考えて、理解することが大切だということ、相手の気持ちを受け止めるけれど、自己主張をすることも大切だとわかりました。(20代男性)



ジョブトレーニング・職場体験実習を通じて就職した卒業生からのメッセージ

ハローワークでチラシを見たのをきっかけに、サポステを利用するようになりました。利用当初は、コミュニケーショントレーニングやビジネスマナー等のプログラムに参加することで、就活の基本から学びました。元々話すことが得意ではないですが、初めの頃に比べれば多少は進歩したのではと思っています。ジョブトレーニングには、社会や働くことについて体験し、自信をつけようと思い、参加しました。最初は単発のものからスタートして慣れてきた昨年九月、米菓製造会社での職場実習のお話をいただきました。米菓には関心があったので、絶好の機会だと思って手を挙げました。4日間、焼かれてきた米菓の仕分けや検品などの仕事を行ないましたが、とても丁寧に教えていただきました。実習後、サポステのスタッフの方からの勧めもあって同社の求人に応募したところ、採用していただきました。

現在は、同社で機械の組み立てから始まり、米菓の原料となる餅の投入や運搬、後片付けまでを行なっています。餅は場合によって昆布や海苔などと混ぜる場合もあり、その場合は手際よく作業する必要があります。

私にも精神的に追いつめられていた時期がありました。社会に出るのは大変な所もあります。しかし、誰かの役に立つことができるというのが、私が導き出した結論です。もちろん不安があるのは分かります。しかし、勇気を持って一歩踏み出してみることが大切だと思います。

(20代男性)



サポステを利用したきっかけは、当時引きこもりだった私を心配した両親の勧めでした。通い始めた当初は、活力もなく緊張していましたが、各種プログラムに参加するうちに緊張も解け、やる気や積極性が持てました。そういう時にスタッフの方からジョブトレーニングへの参加を勧められ、参加することになりました。

現在は、ジョブトレでお世話になった総合結婚式場でバンケットサービスという結婚式や宴会での会場のセッティング、食事やドリンク出し等のサービスの仕事をしています。この仕事のやりがいは、直接お客様の反応が伝わることです。お客様から「ありがとう」のお言葉をいただいたり、笑顔を見たりする時や、サービスが上手くいったときの喜びは大きく、それがやりがいとなっています。

社会に出て働くことは、大変なことも多いですが、喜びや充実感も大きく感じるすることができます。私は引きこもりだった当時、このままではいけないと思いながらも、なかなか一歩を踏み出せずにはいましたが、サポステで様々な経験をして、社会に向けた一歩を踏み出すことができました。社会に出て感じたことは、自分のできることを精一杯やっていると周りの方が助けてくれるということです。現在、サポステを利用されている皆さんも、サポステまでの一歩を踏み出すことができた方々です。あとはもう一歩社会に踏み出すだけです。そうすれば皆さんが考えている以上に周りの方は手助けしてくれます。

(30代男性)